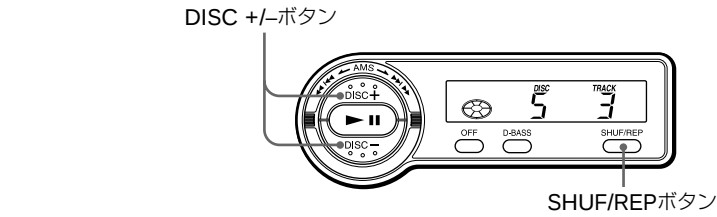


送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している(本機からFMチューナーへ送信する)周波数と同じ周波数のFM放送があると、CD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 SHUF/REPボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す。

2 DISC +/-ボタンを押して、周波数を選ぶ。
DISC -ボタンを押すたびに周波数は次のように切り換わります。
88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz → 88.9MHz → 88.7MHz → 88.5MHz

DISC +ボタンを押すと逆順に表示されます。

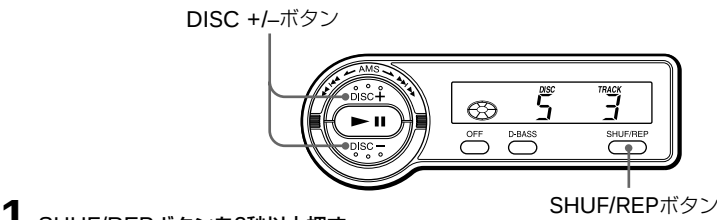
3 最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

ご注意

本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。

出力レベルを設定する

FMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベル (LEVEL 1~5) を設定できます。ふつうは初期値 (LEVEL 3) で使用しますが、必要に応じて調整してください。



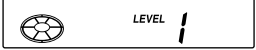
1 SHUF/REPボタンを2秒以上押す。

2 もう一度SHUF/REPボタンを短く押す。初期値



3 DISC +/-ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。

DISC -ボタンを押すとレベルが低くなります。



DISC +ボタンを押すとレベルが高くなります。



4 最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

取り付け

取り付け場所

次のような場所に取り付けないでください。

ディスプレイ

- 運転の妨げになるところ
- 同乗者の安全を損なうところ
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになるところ

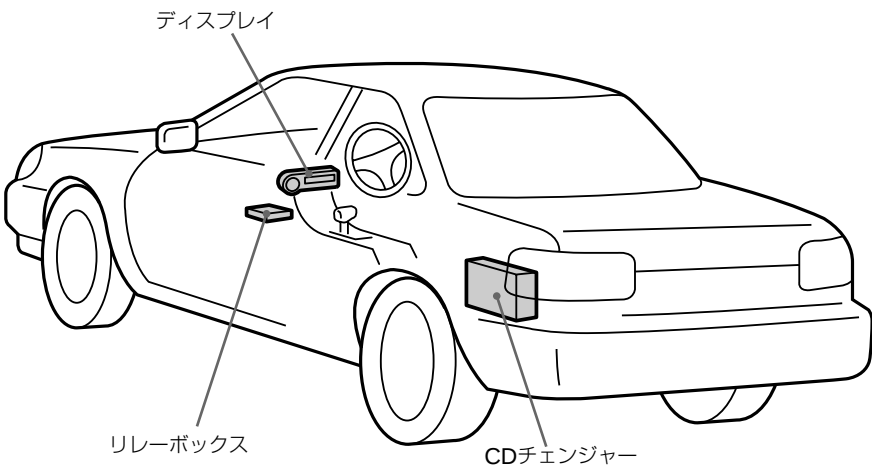
CDチェンジャー、リレーボックス

- 温度が55℃以上になるところ
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ

- ほこりの多いところ
- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通っているところ
- トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ

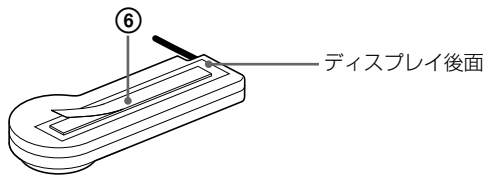
ご注意

- トランク内に穴をあけるときは、必ず裏側に何も無いことを確認してください。
- 必ず、付属のネジ類をお使いください。他のネジを使用すると故障の原因となることがあります。



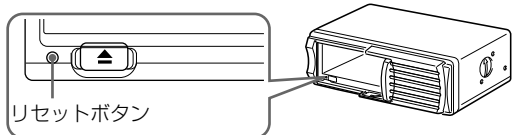
ディスプレイの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、両面テープ⑥を使って運転の妨げにならない見やすい位置に取り付けます。



取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、CDチェンジャーのリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。

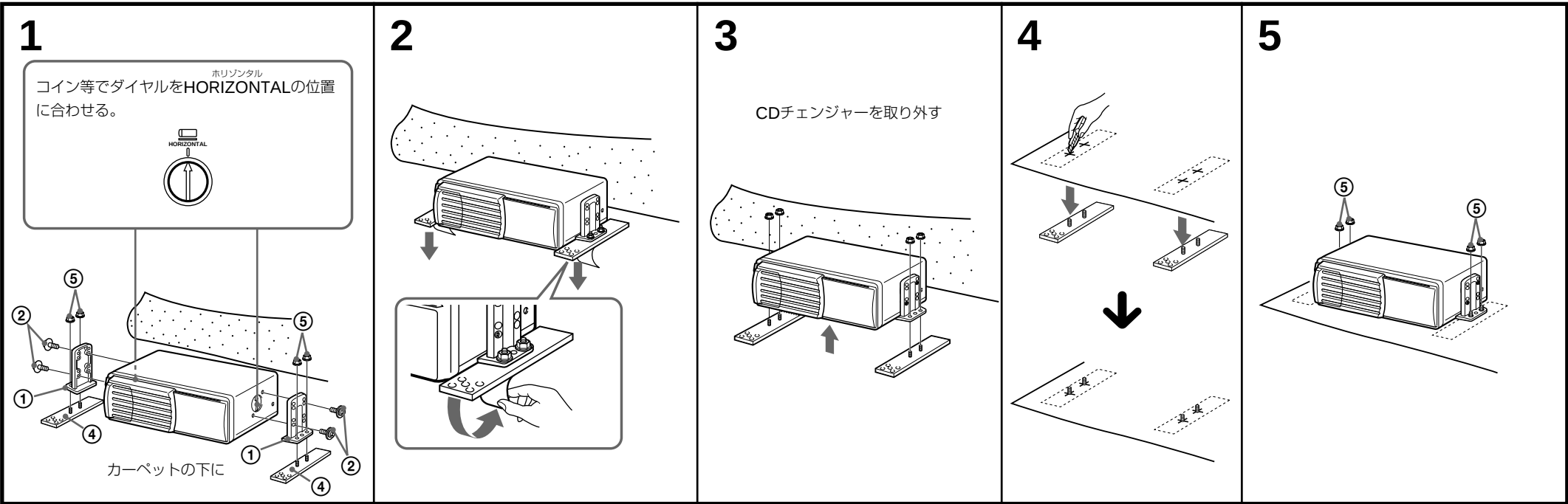


- 故障かな?と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな?」をご覧ください。

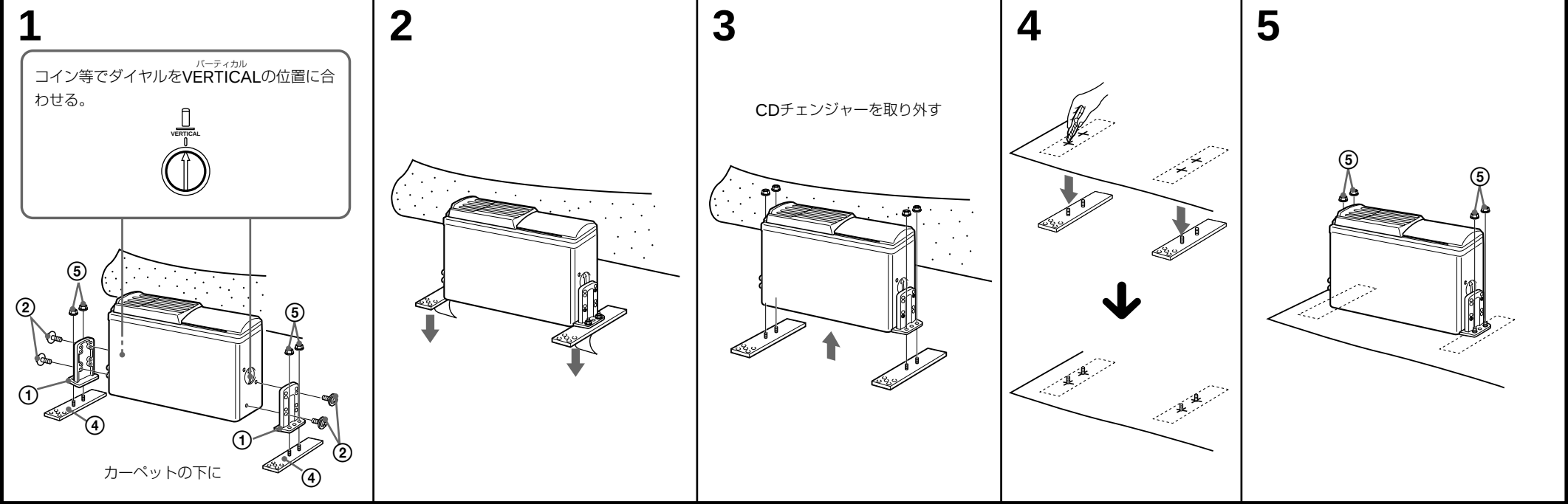
CDチェンジャーの取り付け

取り付け板⑦により、取り付け高さを2段階に選択できます。お好みに合わせてお使いください。

横に置いて取り付ける場合

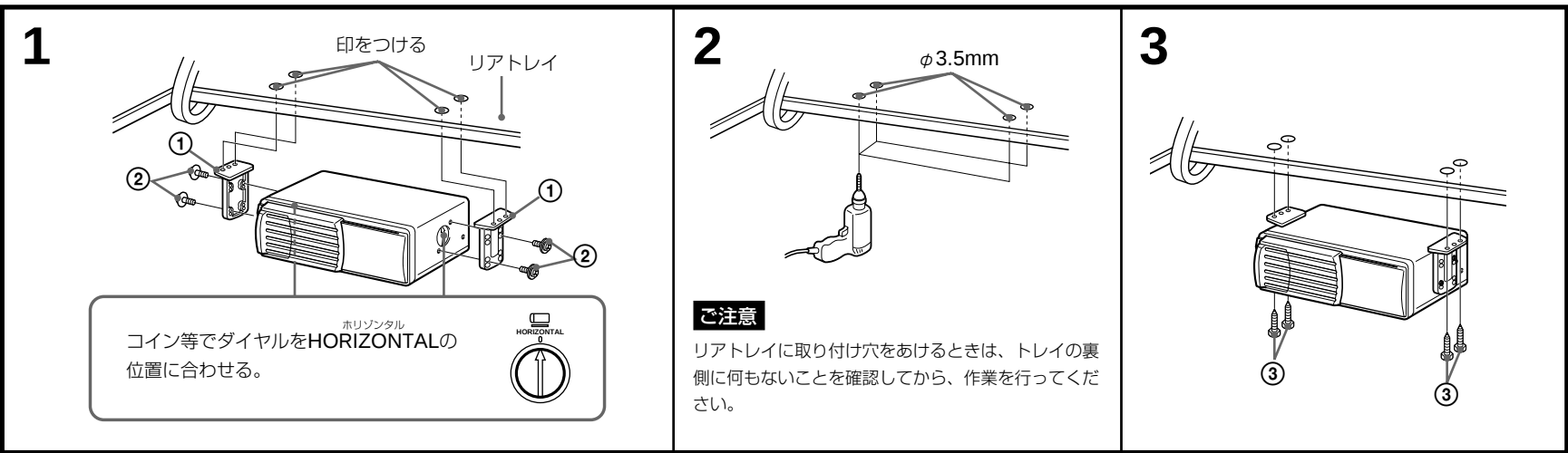


縦に置いて取り付ける場合



吊り下げて取り付ける場合

- トランクルームのリアトレイ下等に吊り下げて取り付ける場合、以下の点にご注意ください。
- 本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。
- トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。



傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤルには5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

